

I S S きぼう ウィークリーニュース

平成14年5月14日発行 第6号 宇宙ステーション・J E M広報・情報センター

“今週の国際宇宙ステーション(I S S)”

最初のI S S構成要素打上げから1271日経過しました。

第4次長期滞在クルーのI S S滞在日数は159日経過しました。

I S S動向

I S Sのクルーは今年4月のスペースシャトル・アトランティス号(STS-110)でI S Sへ運ばれた化学工業などで使用する触媒であるゼオライトの結晶成長実験を行いました。できあがった結晶は次のスペースシャトル(STS-111)で地球へ持ち帰る予定です。また、植物成長実験では成長の模様を撮影し、実験装置の水・空気のサンプルを採取、地球観測のための地球画像撮影を行いました。その他、I S S内のシステムの保守作業を行っています。



©NASA

これからの予定(日本時間)

- ・5月31日(金)スペースシャトル・エンデバー号(STS-111)打上げ(アメリカ)
- ・6月11日(火)エンデバー号着陸(アメリカ)
この他のI S S関連打上げスケジュールは、以下をご覧下さい。
<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/assemble/doc02.html>

I S S・テスティニ-内で仕事中のダノ・バ-シュ宇宙飛行士(第4次滞在クルー)

スペースシャトル・エンデバー号(STS-111)の打上げ準備作業進む

日本時間5月31日に打上げ予定のスペースシャトル・エンデバー号は、ケネディ宇宙センター(アメリカ・フロリダ州)の発射台で打上げ準備作業が順調に進められています。

今回のミッションは、I S S滞在クルーの交代や実験装置・補給品をI S Sへ運ぶこと、I S Sのロボットアームがトラス上を自由に動くための装置であるモバイル・ベース・システム(M B S)をI S Sへ取り付けることが目的です。



STS-111ミッションマーク
(NASA)

“今週の「きぼう」”

N A S Aジョンソン宇宙センターでのI S Sアドバンスト訓練(3回目)開始!

土井・若田・古川・星出・角野各宇宙飛行士は5月13日(月)からN A S Aジョンソン宇宙センター(アメリカ・テキサス州ヒューストン)でのI S Sアドバンスト訓練(3回目)を開始しました。



アドバンスト訓練はI S Sの様々な機器を操作する際に必要な技能・知識を習得するために行うもので、この訓練はI S Sの構成要素を開発した機関で行われます。5人の宇宙飛行士は6月末まで行われるアメリカでの訓練に続いて、今年中にヨーロッパ、日本での訓練を行う予定です。

前回のアドバンスト訓練中の様子
左から古川、星出、デュク(ESA)
宇宙飛行士(2001年11月)

“お知らせ”

「きぼう」利用多様化に向けた第1回フィジビリティスタディおよび第1回パイロットプロジェクトの成果報告会の開催について

一般の方々に対し、今後の「きぼう」の利用多様化について、ご理解を深めていただくことを目的として、フィジビリティスタディおよびパイロットプロジェクトの提案者による成果報告会を下記のとおり実施いたします。

日時：平成14年5月17日(金) 10時～17時30分

場所：宇宙開発事業団本社28階 N A S D A i プレゼンテーションルーム

備考：どなたでも参加できます。(座席数は50席)

問い合わせ先：きぼう利用相談室 TEL: 03-3438-6639

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/sokushinshitsu/topics02007.html>

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・J E M広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

I S S・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp
「I S S・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。